

消費者教育の一環として セミナー開催

カロテノイドの“今”を紹介

A I F N

国際栄養食品協会（AIFN：アイファン）は4月11日、10年度第1回公開セミナーとして日本カロテノイド懇話会と共催で「カロテノイド特集セミナー」（日本カロテ

ノイド研究会 後援）を都内で開催。業界関係者、アドバイザリースタッフ、「消費者教育」の一環として一般の人らを対象に行い、約120人が参加した。

について、学術分野の専門家と素材メーカーらが講演した。

「カロテノイドと健康」と題した講演では、立命館大学特別招聘教授で京都府立医科大学特任教授の西野輔嗣氏が登壇。カロテノイドとがん予防などに関する研究を報告した。

α・カロテン、β・カロテン、アスタキサンチン、ルテイン、リコピン、β-クリプトキサンチン、フコキサンチンといったカロテノイドの基礎や、食品素材としてのさまざまなカロテノイドの“今”

同氏は今後の課題として、「さらに深く研究されること望まれる」とし、「カロテノイド同士あるいはカロテノイドと他の機能性食品因子を組み合わせることで、そのメカニズムを生かした実用化戦略が、この分野の発展につながる」と考えられる」とした。

